

【記載例】

基本事件番号 平成・令和 2年(家)第8****号 【未成年者氏名： 甲 山 次 郎 】

財産目録 (令和3年1月31日現在)

令和 3年 2月 10日

作成者氏名 乙 山 花 子



未成年者の財産の内容は以下のとおりです。

1 預貯金・現金

金融機関の名称	支店名	口座種別	口座番号	残高(円)	管理者
〇〇銀行	××支店	普通	2345678	1,434,900	後見人
ゆうちょ銀行		定期	1450-2365	3,000,000	後見人
●●銀行	■支店	定期	8765432	300,000	後見人
		支援信託			
		支援預金			
現金				31,169	後見人
合 計				4,766,069	
前回との差額					(増・減)

(2から7までの各項目についての記載方法)

- ・初回報告の場合→すべて右の□をチェックし、別紙も作成してください。
- ・定期報告の場合→財産の内容に変化がない場合→左の□にチェックしてください。該当財産がない場合には、()内の□にもチェックしてください。
財産の内容に変化がある場合→右の□にチェックした上、前回までに報告したのものも含め、該当する項目の現在の財産内容すべてを別紙にお書きください。

2 有価証券(株式、投資信託、国債、外貨預金など)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

3 不動産(土地)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

4 不動産(建物)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

5 保険契約(本人が契約者又は受取人になっているもの)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

6 その他の資産(貸金債権、出資金など)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

7 負債(立替金など)

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) 前回報告から変わりました(別紙のとおり)

【記載例】

(別紙)

2 有価証券（株式、投資信託、国債、外貨預金など）

種 類	銘柄等	数量（口数、株数、額面等）	評価額（円）
国債		5,000,000	5,000,000
株式	△△電力（株）	1,000	515,000
合 計			5,515,000

3 不動産（土地）

所 在	地 番	地 目	地積（㎡）	備考
●●区●●町●丁目	○○○番2	宅地	123.24	
○○市○○	△△△番地	山林	288.00	共有持分1/2

4 不動産（建物）

所 在	家屋番号	種 類	床面積（㎡）	備考
●●区●●町●丁目●●番地	●●番●の1	居宅	65.48	
●●区××丁目××番地	××番	居宅	70.33	敷地部分は借地権

5 保険契約（未成年者が契約者又は受取人になっているもの）

保険会社の名称	保険の種類	証書番号	保険金額（受取額）（円）	受取人
△△生命	学資保険	*****	1,000,000	未成年者

6 その他の資産（貸金債権、出資金など）

種 類	債務者等	数量（債権額、額面等）
なし		

7 負債（立替金など）

債権者名（支払先）	負債の内容	残額（円）	返済月額（円）・清算予定
甲山一郎（未成年者の祖父）	立替金（私立中学入学金）	300,000	初回報告後全額精算予定
合 計			